別紙様式第4号

元帳及び補助簿目次

元帳	第4号の1
有価証券、投資有価証券台帳	第4号の2
預金、金銭信託台帳	第4号の3
生命保険台帳	第4号の3の2
借入金台帳	第4号の4
貸付金台帳	第4号の5
貯金台帳	第4号の6
不動産台帳(土地)	第4号の7
不動産台帳(建物)	第4号の8
不動産台帳(構築物、立木竹)	第4号の9
投資不動産台帳	第4号の10
器具及び備品、機械及び装置、医療器具機械、車両及び運搬具台帳	第4号の11
貯蔵品台帳	第4号の12
売掛金、未収金台帳	第4号の13
買掛金、未払金台帳	第4号の14
仕入台帳	第4号の15
売上台帳	第4号の16
給付金台帳	第4号の17
予算差引帳	第4号の18
小口現金出納簿	第4号の19

第4号の1

(口　座)

年 月　日	摘　要	伝票 番号	借　方	貸　方	借 貸	残　高	(元帳)
			円	円		円	

第4号の2

（口　座）

種目		銘柄別		内容		沿革	

年月日	摘要	証券番号	増		減		現在		受取利息	
			数量	価格	数量	価格	数量	価格	年月日	金額
				円		円		円		円

（有価証券、投資有価証券台帳）

備考　この台帳は、銘柄ごとに別葉とすること。ただし、有価証券信託については信託先別に別葉とする。

第4号の3

（口　座）

年月日	摘要	番号	増	減	現在	受取利息	
						年月日	金額
			円	円	円		円

（預金、金銭信託台帳）

備考

1　預金については、預金先ごとに別葉とし、定期預金及び組合の理事長が必要とする預金を記載すること。

2　金銭信託については信託先別かつ口座別に別葉とすること。

3　「番号」欄は、通帳又は証書番号を記載すること。

第4号の3の2

（口　座）

年 月　日	摘　　要	増	減	現　　在	保　険　収　益	
					年月日	金　額
		円	円	円		円

（生命保険台帳）

備考　この台帳は、契約先ごとに別葉とすること。

第4号の4

（口　座）

年 月　日	摘　　要	整理 番号	借　入	返　済	現　在	支　払　利　息	
						年月日	金　額
			円	円	円		円

（借入金台帳）

備考

1　この台帳は、人名勘定とすること。

2　短期借入金、長期借入金は別葉とすること。

第4号の5

（口　座）

年 月　日	摘　　要	伝票 番号	貸　付	返　済	現　在	日数	受　取　利　息		
							積数	金　額	年月日
			円	円	円			円	

（貸付金台帳）

備考

1　この台帳は、人名勘定とすること。

2　この台帳は、「カード」式とすることができる。

第4号の6

（口　座）

年 月　日	摘　　要	伝票番号	預　入	払　出	残　高	日数	積数及び利　息	日数計算の説明
			円	円	円		円	

（貯金台帳）

備考　この台帳は、人名勘定とすること。

第4号の7

（口　座）

施設名		所在地		種目		沿革	

年 月日	摘　　要	増			減			現　在			備　　考
		数　量		価格	数　量		価格	数　量		価格	
		公簿	実測		公簿	実測		公簿	実測		
				円			円			円	

（不動産台帳の土地）

備考

1　この台帳は、施設ごとに口座を設け種目ごとに別葉とすること。

2　「種目」欄には、宅地、原野、道路等の地目を記載すること。

3　「摘要」欄には、土地の地番等を記載すること。

4　「備考」欄には、登記年月日、平方メートル当たりの単価及び土地買入れに要した租税、仲介口銭、整地費等を記載すること。

第4号の8

（口　座）

（不動産台帳の建物）

施設名		所在地		種目		構造		沿革	
				番号					

年月日	摘要	増			減			現在			減価償却額		備考
		数量		価格	数量		価格	数量		価格	当期	累計	
		建築面積	延べ面積		建築面積	延べ面積		建築面積	延べ面積				
				円			円			円	円	円	

備考

1　この台帳は、建物1棟ごとに別葉とする。ただし、構造、建築年次が同一程度で棟続きのものは、1葉として記載することができる。

2　「種目」欄には本館、病棟、住宅等の建物の種類を、「番号」欄には整理番号を記載すること。

3　「摘要」欄には、新築、増築、耐用年数等を記載すること。

4　「備考」欄には、火災保険金額、登記年月日、主たる修繕の年月日及び金額を記載すること。

第4号の9

（口　座）

（不動産台帳の構築物、立木竹）

種目		構造又は細分		沿革	

年月日	摘要	増		減		現在		減価償却額	
		数量	価格	数量	価格	数量	価格	当期	累計
			円		円		円	円	円

備考

1　この台帳は、へい、門等の構築物並びに立木竹の種目ごとに別葉とすること。

2　「摘要」欄には、新設、増設、減価償却等必要事項を記載すること。

第4号の10

（口　座）

（投資不動産台帳）

施設名		所在地		種目		構造		沿革	
				番号					

年月日	摘要	不動産の内容						収納金額		現在			備考
		建物			構築物	土地							
		建築面積	延べ面積	金額	金額	面積	金額	元金	利息	建物価格	構築物価格	土地価格	
				円	円		円	円	円	円	円	円	

備考

1　この台帳は、施設ごとに口座を設け、施設の異なるごとに別葉とする。

2　「摘要」欄には、契約年月日、割賦収納金額等を記載すること。

3　「備考」欄には、割賦年数、火災保険金額、登記年月日等を記載すること。

第4号の11

（口　座）

（器具及び備品、機械及び装置、医療器具機械、車両及び運搬具台帳）

年月日	摘要	受入			払出		現在		減価償却額	
		数量	単価	金額	数量	金額	数量	金額	当期	累計
			円	円		円		円	円	円

備考

1　この台帳は、品名勘定とすること。

2　「摘要」欄は、買入れ、保転、減価償却、廃棄等必要事項を記載すること。

第4号の12

（口　座）

年 月日	摘　要	受　入			払　出			残　高			（貯蔵品台帳）
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
			円	円		円	円		円	円	

備考　この台帳は、事務用消耗品、事業用消耗品、薬品、医療材料品、飲食材料品等の品名勘定とすること。

第4号の13

（口　座）

年 月　日	摘　要	伝　票 番　号	借　方	貸　方	借 貸	残　高	（売掛金、未収金台帳）
			円	円		円	

備考　この台帳は、人名勘定又は品名勘定とすること。

第4号の14

（口　座）

年 月　日	摘　　要	伝　票 番　号	借　　方	貸　　方	借 貸	残　　高
			円	円		円

（買掛金、未払金台帳）

備考　この台帳は、人名勘定又は品名勘定とすること。

第4号の15

（口　座）

年 月日	仕　入　先	伝票 番号	送状 番号	品　名	数量	単　価	金　額	金　額　内　訳	
								現　金	掛
						円	円	円	円

（仕入台帳）

備考　この台帳は、人名勘定又は品名勘定とすること。

第4号の16

（口　座）

年 月日	摘　　要	伝票 番号	品　　名	数量	単　　価	金　　額	金　額　内　訳	
							現　　金	掛
					円	円	円	円

（売上台帳）

備考　この台帳は、人名勘定又は品名勘定とすること。

第4号の17

（口　座）

年 月　日	摘　　要	伝　票 番　号	件　数	日　数	支　払 金　額	戻　入 れ　額	差　引 支出額
					円	円	円

（給付金台帳）

備考

1　この台帳は、勘定科目表の小項目ごとに別葉とすること。

2　短期経理の療養の給付、入院時食事療養の給付、特定療養の給付、療養費、家族療養の給付、家族療養費、高額療養の給付及び高額療養費については、入院、外来の別、内科、歯科等の診療科目別に、組合の理事長又は主務大臣が定める報告書作成上必要と認める区分に従い前号にかかわらず口座を設けることができる。

第4号の18

（口　座）

（予算差引帳）

年 月　日	摘　　要	予　算　額	支　　出　　額			差引残額
			支部及び所属所示達額	支 出 額	計	
		円	円	円	円	円

備考

1　この台帳は、役員報酬、職員給与、旅費及び事務費については、必ず記載すること。

2　「摘要」欄には、支出額の内容等必要な事項を記載すること。

3　支部及び単位所属所における予算額は、本部及び支部よりの予算示達額を記載すること。

4　本部及び支部においてはその統轄する会計単位がない場合及び単位所属所においては、支出額の「支部及び所属所示達額」欄は、省略することができる。

第4号の19

（口　座）

（小口現金出納簿）

令和 年	受入額	支払額	残　高	支払額内訳（中項目）　　円							
月　　日	円	円	円								

備考　支払額内訳欄の中項目は、必要に応じ組合で記載すること。